

1 本題材で人権教育を進めるにあたって

本題材では、中学生の身近な消費行動を振り返ることを通して、家庭生活における消費の重要性に気付き、消費者の基本的な権利と責任について理解を深めるとともに、物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができるようにすることをねらいとしている。

本学習では、低年齢化している消費者トラブルに注目し、その防止と解決方法について、自分にとって最善の解決策を考えさせ、消費生活における「権利」と「責任」についての理解を深めさせる。この知識を得ることが、消費者としてよりよい生活環境を確保し、自分自身の生活を豊かにすることにつながるということに気付かせたい。

学習の際は、実際にトラブルの解決法について、対処方法を調べたり、消費者の基本的な権利や責任を理解させたりする活動を通して、現在及び将来において、自分たちが幸せに生きるために具体的に役立つ知識を身に付けさせたい。

2 題材の目標

消費生活におけるトラブルやその解決方法についての学習を通して、消費者の基本的な権利と責任について理解するとともに、消費者を支える機関や法律の必要性を理解する。

3 人権教育を通じて育てたい資質・能力

消費者としての基本的な権利とその責任について理解するとともに、全ての人が幸せに生活するための消費者を支える機関や法律について理解する。（知識的側面）

4 指導のポイント

（1）知的理解を図る上で大切にしたいポイント

- 生徒の関心が高く、身近に起こりうるトラブル等の話題提示によって、主体的に学習に取り組ませる。
- ロールプレイングや話し合い活動等の学習形態の工夫を通して、互いの考えや思いを共有し、協力して課題解決に取り組ませる。
- 社会科の公民的分野「くらしと経済」や、技術分野の「情報モラル」に関する学習との関連を図り、知識の定着につなげる。

(2) 人権が尊重される授業づくりの視点

①自己存在感

個人思考、グループ活動の時間を十分に確保し、個の思いや考えをしっかりと伝えられるようにする。

②共感的人間関係

事業者・消費者双方の立場に立って問題点を考え、グループでの意見交換や調べ学習を行いながら、主体的に問題解決に取り組ませる。

③自己選択・決定

自他の学習課題や解決方法を振り返って交流する時間を設定し、学び合いをする中で、よりよい解決方法について選択・決定できる場を工夫する。

5 学習の流れ

(1) 指導計画（2時間取り扱い）

※開隆堂「3 よりよい消費生活のために」の例

学習活動	人権尊重の視点を踏まえた指導上の留意点等
1 消費生活のトラブルを防ごう。 (本時) ○中学生を取り巻く消費者トラブルを知り、トラブルを防ぐ方法について考える。 (ワークシート1)	○生徒たちにとって身近な例を取り上げることで、一人一人の関心を高め、主体的に学習に取り組めるようにする。 ○ロールプレイングを用いて、消費者と事業者の立場を体験することで、トラブルの起こる原因や双方の心理状態を理解し、トラブルの未然防止や巻き込まれないためにできることを考えさせる。
2 消費者の権利と責任 ○消費者の基本的な権利と責任について考える。 3 消費者を支えるしくみ ○消費者を支える機関や法律の必要性について考える。 ○クーリング・オフの方法について考える。 (ワークシート2)	○商品購入を例にとり、選ぶことは権利であるとともに、責任を伴うことであるということに気付かせる。 ○消費者としてとった行動が、よい商品を生み出す社会的な行動につながることを理解させる。 ○消費者を支える機関や法律の役割、クーリング・オフ制度や活用方法等の知識の定着を図るために具体的な事例を提示する。

(2) 人権尊重の意識と実践力を養う学習活動例 (1 / 2時間目)

目標

◇消費生活におけるトラブルについて理解し、巻き込まれないようにするための方法について考えることができる。

人権教育で育てたい資質・能力

◆消費者トラブルに巻き込まれないための知識を得ることが、自分たちの人権を守ることに繋がるということを理解する。

主な学習活動	○指導上の工夫・留意点 評価◇◆	備考
1 中学生に多いトラブルについて知る。	○消費者トラブルに関するアンケートや新聞記事などの身近な課題を提示し、生徒の興味・関心を高める。	電子黒板 PC
2 ロールプレイングを行い、トラブルが起こる原因について考える。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 「あなたならどうする？」トラブルを防ぐ方法を考えよう。 </div>		
事例「携帯電話トラブル」	○ロールプレイングでは、事業者や消費者のそれぞれの立場で考えさせることで、トラブルに巻き込まれないための注意点に気付かせる。	参考資料 ワークシート1
3 トラブルに巻き込まれない方法を考えよう。 (1) 個人で考える。 (2) グループでよりよい解決方法について話し合う。 (3) グループで考えた解決方法をロールプレイングする。	○他の人の意見をよく聞き、よい点を出し合うことで、自分の考えも深められるようにする。 ○知識がないということがトラブルに巻き込まれたり、被害拡大の原因になったりすることもあるということに気付かせる。 ◇消費生活におけるトラブルについて理解し、巻き込まれないために自分にできることを考えている。 ◆消費者トラブルに巻き込まれないための知識を身に付けることが、自分たちの人権を守るということを理解している。	PC

<p>4 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 内容を正しく理解してから契約する。 • 必要ない時は、毅然とした態度で断る。 • 急いで結論を出さずに誰かに相談する。 	<p>○トラブルの未然防止や被害拡大を防ぐために大切なことを押さえる。</p>	
---	---	--

6 資料

- 開隆堂 技術・家庭 家庭分野
 - 「3 よりよい消費生活のために」 pp.218～225
- 東京書籍 新しい技術・家庭 家庭分野
 - 「3 消費者の権利と責任を知ろう」 pp.216～217
 - 「4 消費者トラブルを解決する方法を知ろう」
pp.218～223
 - 「5 よりよい消費生活を目指して」 pp.224～225
- 教育図書 技術・家庭 家庭分野
 - 「3 買い物の法律的な意味」 pp.240～241
 - 「4 ねらわれている消費者」 pp.242～245
 - 「5 消費者トラブルの解決」 pp.246～249
 - 「6 買い物の社会的な意味」 pp.250～257

【参考資料】 消費者庁「消費者センスを身につけよう」 pp.2～11
<http://www.caa.go.jp/information/index9.html>
 上記URLからダウンロード可能

ワークシート1

「よりよい消費生活のために」 組 番 氏名 ()

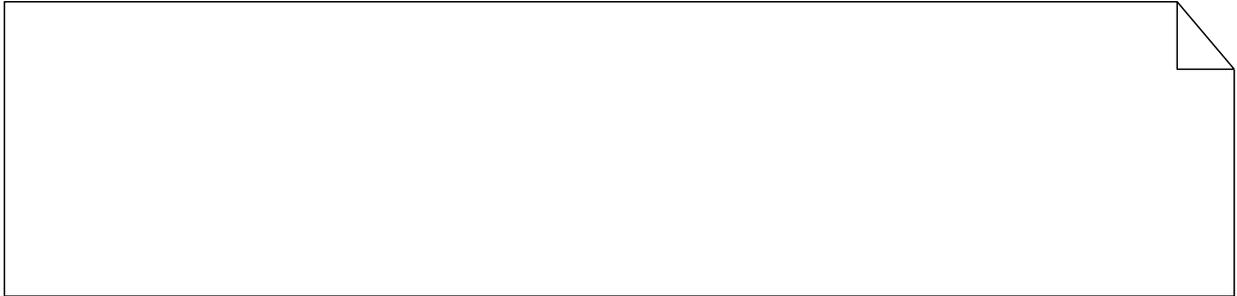
1 なぜトラブルが起こってしまったのだろうか、考えてみよう。

中学生の気持ち

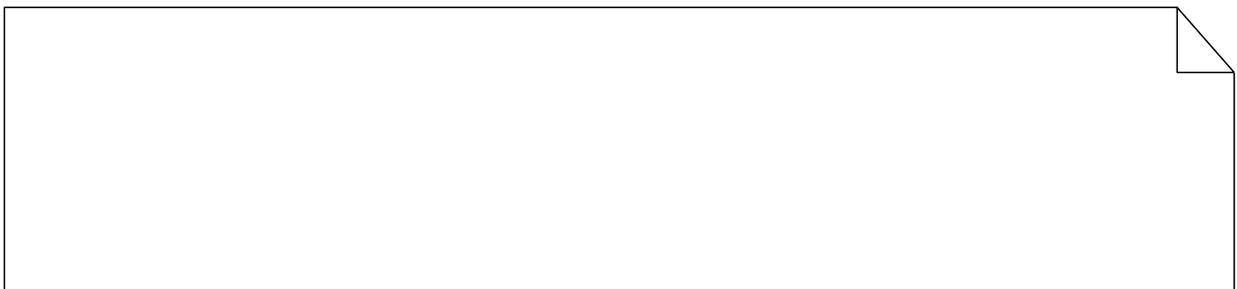
業者の気持ち

2 あなたならどうしますか？トラブルに巻き込まれない方法を考えよう。

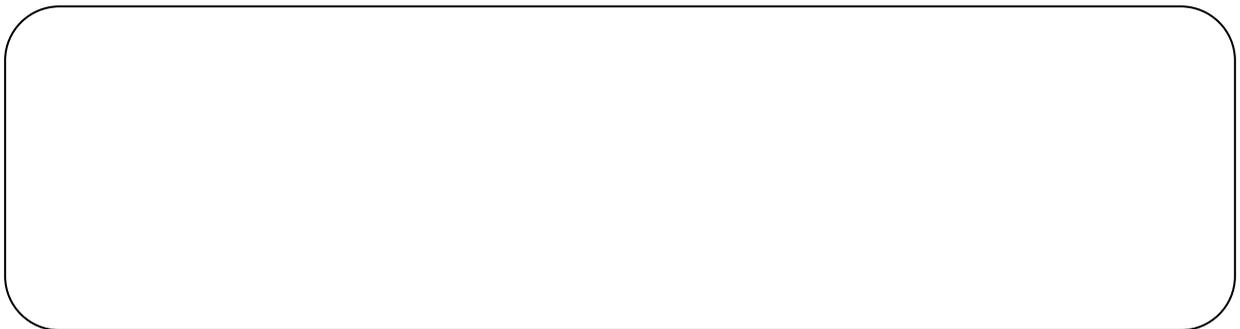
①あなたの考え



②グループのみんなの考え（なるほどと思った意見）



3 トラブルに巻き込まれないようにするために、あなたにできることを考えよう。



【参考資料】

1 ロールプレイングをやってみよう

例 1 無料のゲームサイトに登録したら、後から請求書が送られてきた事例 (不当請求)

せいきゅう

このゲームサイト
無料なんだって。
登録してみようよ

1 2 3 4

有料期間になっても
解約の連絡が
ありませんでした。
未払い金 3 万円を至急
お支払いください。

無料じゃ
なかったの!?

親にも
言いつけさせー!

数日後

2 悪質業者の実態とだましの手口を確認しよう

冷静に考えるこ
とが大事だね

「このゲームサイト、
無料なんだって。」

「無料」というのは、お金をだまし
取るためのワナだったんだ
ね。

せいきゅう
繰り返し請求されると、怖くて
支払わなければいけない気持
ちになるけど、冷静に考えたら
契約していなかったよね。

こんなだまし
許せないよ

お金を請求されたら、不安になって
支払う人がいるんだ。
不思議だよ。

冷静に考えてみてよ。
何も契約していないのに、
どうしてお金払うのよ。

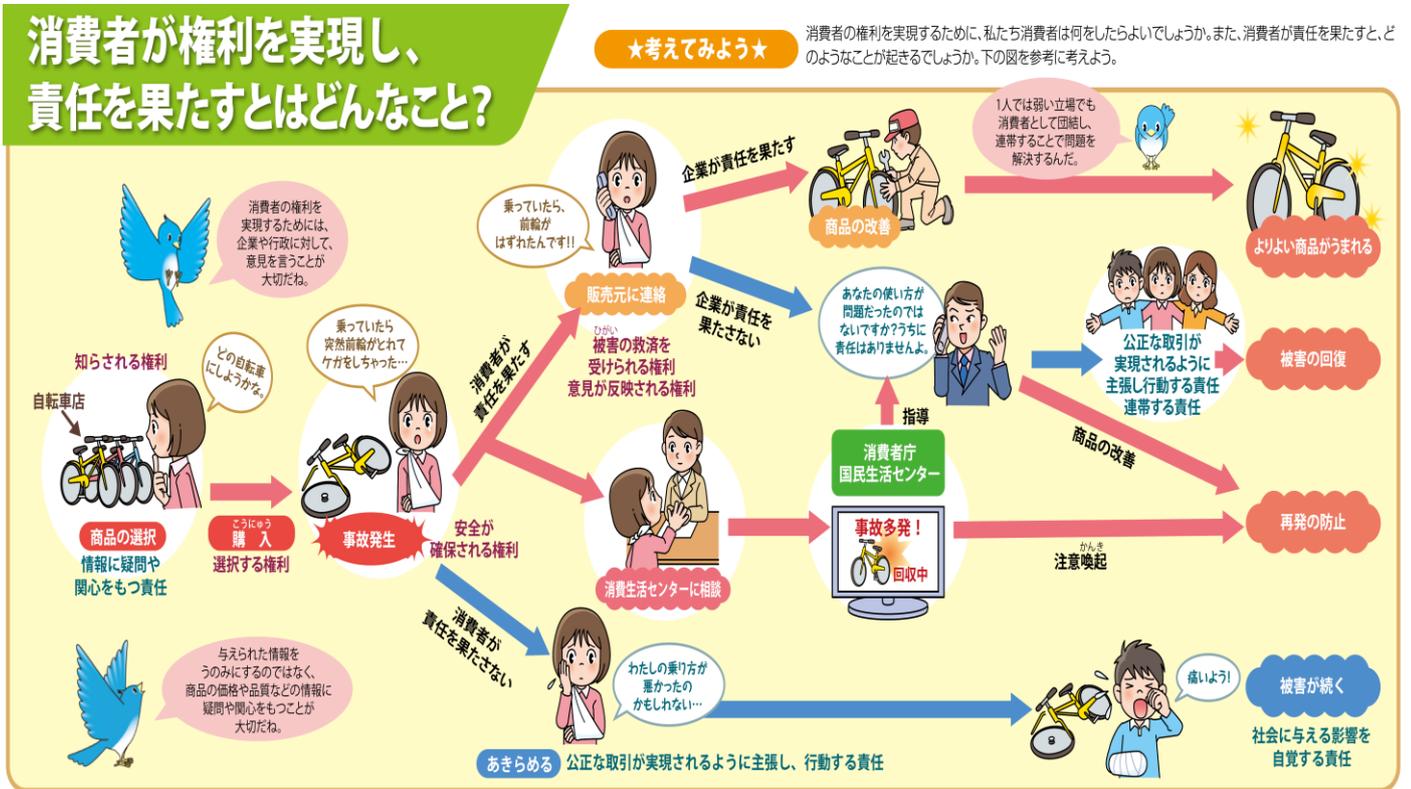
無料から有料に切り替わる時には、
契約が必要なのがわかっていない。
契約していないのに、
「未払い料金3万円」支払え、
なんておどしに決まっているのに。

簡単にだまされる
消費者がいるから、
この仕事やめられないんだよね。

ワークシート2

1 買ったばかりの自転車の前輪がとれてけがをしてしまった。あなたなら、どうしますか？

2 消費者の権利と責任について、下の資料を参考にして考えよう。



出典：消費者庁「消費者センスを身につけよう」

①権利を実現させるために消費者がすべきことは何でしょう？

②消費者が責任を果たすと、どのようなことが起きるでしょう？

3 「よりよい消費生活のために」の学習を通して、学んだことやこれからの生活に生かしていきたいと思うことを書きましょう。